

出張報告書

No. 11649872

議員出張報告書綴

下関市議会議長殿

別紙のとおり

出張報告書

令和 7 年 1 月 31 日

氏 名 林 透 井川 典子 河野 淳一 坂本 晴美	視察項目 1. 地域医療について 2. 児童福祉施設について
期 間 令和 6 年 12 月 26 日から 令和 6 年 12 月 27 日まで	視察先（市区町村名が分かるように記載してください。） 厚生労働省 こども家庭庁

視察概要・意見等

厚生労働省・健康・生活衛生局 総務課 課長補佐

（併）がん・疾病対策課 がん対策推進官（併）生活衛生課 生活衛生対策企画官

九十九 悠太医師に面談

1. 地域医療について

今後は、人口も減るが患者数も減っていきます。例えば、地域がん診療連携拠点病院はどこでも平等に診療を受けられるために、設置されてきましたが、これからは、がんは診断されても緊急手術とはならないので、拠点病院の配置も県全体で考える段階にきています。また、医師も救急医療の担い手不足のため、地域医療の考え方を抜本的に考え直す必要があります。私たちも最初は、新病院の医師確保のために九十九氏を訪ねたが、国は、地域医療は、市町だけで考える段階ではなく、大きな圏域で考えなければ、物理的にも人的にも成り立たないと考えています。新市民病院完成が5年先となれば、なおさら、市内の3つの病院の機能分担、採算がとれるのかなど、先を見据えて、しっかりと考えていく必要があることが分かりました。

児童福祉施設等に係る施設整備や就学前教育・保育施設整備等、次世代育成支援対策に対し、国がどのような形で地方へ交付金をつけていただけるのかについて、対象、スケジュール、内容を説明して、頂き、いま、市が直面している課題解決に向け、我々が提案している、又これから提案できる施策の具体例を問いました。

又、これからの子育て環境について、何を充実させるのか、地方に求めていることは何か、地方（市）が要求されている現実についての協議もさせて頂きました。

利用者支援事業についての要望もさせて頂き、子育て政策提案にしっかり役立たせていただきます。